

新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会 最終報告書(案)

令和2年11月定例会（事前）
文教厚生委員会資料
教育委員会

国の取組と課題

- 特別支援教育への制度転換，インクルーシブ教育の推進
- 特別支援学校の教室数不足と「設置基準」の策定方針

本県の取組

- 県立特別支援学校の「適正配置」の実施，完了
- みなと高等学園による「ダイバーシティ」の先駆的取組



技能検定（ビルメン）

県立特別支援学校の課題

1. 施設の老朽化，県東部の特別支援学校における狭隘化
2. 校内で教員と児童生徒との関わりを中心とした教育活動
3. 多くの学校の施設は地域や企業等との連携が未想定
4. 「ダイバーシティ」実現に向けた地域への働きかけ強化

来春にも国の「設置基準」策定

みなと高等学園の先駆的取組を全県展開

1. 国の「設置基準」を ふまえた基本機能の充実

- 国の示す「設置基準」へ対応
- 「新しい生活様式」に対応した教育環境整備
- 各障がい種への教育的対応に関する専門性のさらなる強化
- 児童生徒の特性に応じ，将来の就労を見据えた教育内容

2. 地域を学習の場とする 「新たな教育内容」の創造

- みなと高等学園による先駆的取組の展開
- 「児童生徒が地域で学ぶ」「地域の方が学校を訪れる」機会を増やす教育の推進
- 「新たな教福連携モデル」の構築
- 地域の防災教育の推進
- ICTを活用した教育活動の推進

3. 新たな教育内容を 支える「施設整備」

- 「ゆめみずき」「みまカフェ」等，先行的な整備事例を横展開
- 地域と一体化したキャリア教育を支える施設
- スポーツ・文化活動を支える施設
- 地域の防災拠点としての機能強化
- ICT活用の基盤となる設備，機器等

4. ダイバーシティ社会の形成に向けた方策

- みなと高等学園に続く新たな「先導モデル」として「国府支援学校」を整備
- 「コミュニティスクール制度」を軸とした各学校と地域との相互連携強化
- 特別支援学校のセンター的機能を通じた小・中学校等への「ダイバーシティ」の拡大

新「先導モデル」としての国府支援学校

- 国の「設置基準」と「新しい生活様式」の実現
- 地域，企業等と連携する「地域一体型キャリア教育」
- 「センター的機能」を通じた小中高へのモデル拡大

他の特別支援学校



施設長寿命化計画の下で推進

地域へ

企業へ

小・中学校
高等学校へ

「ダイバーシティ
とくしま」の
実現！